■施工電気工事業者様へのお願い

- 施工終了後、電気工事業者名欄にご記入ください。
- この取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

施工電気工事業者名	
TEL　　（　　）	施工年月日　　年　月　日

【ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社
パナソニック エコソリューションズ電路株式会社
〒571-8686　大阪府門真市門真 1048 番地　TEL（代表）06-6908-1131

©Panasonic Corporation 2012

8M7 714 004
PC0910-40112

Panasonic®

（※1）自家発電対応 住宅分電盤

8M7 714 004
取扱説明書
（保管用）

<対象製品品番はカタログなどでご確認ください>

（※1）自家発電＝太陽光発電、ガス発電、燃料電池

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

安全に関するご注意

⚠警告

禁止	● **カバーは絶対に開けない** ～感電する場合があります～
必ず守る	● **異常（発熱・臭い・煙など）がありましたら直ちに主幹ブレーカを「切」にして、連絡先または電気工事業者へ連絡する** ～火災のおそれがあります～

- 安全にご使用いただくため、定期点検を電気工事業者へ依頼されることをお奨めします。
- 有資格者以外の電気工事は法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。

使用上のご注意

- 住宅分電盤の前面には、ものを置かないでください。
- ブレーカを日常のスイッチとして使用しないでください。
- 下記のような環境では使用しないでください。
  高温・多湿、じんあい、腐食性ガス、振動、衝撃など
- 住宅分電盤表面の汚れは、乾いた布または中性洗剤を軽く湿らせた布で拭き取ってください。

✕ **薬品やアルカリ系・酸性系などの洗剤**

→ ○ **乾いた布による拭き取り**
中性洗剤の使用
（軽く布に湿らせてご使用ください）

注意　分岐回路表示ラベル部は乾いた布をご使用ください。
（湿った布の使用は、表面がにじむことがあります）

電気が切れたときの処置手順

■電気が切れたときの処置【主幹ブレーカ動作時、ハンドルの繰り返し投入は避けてください。】

手順

電気が切れた

どこの電気が切れましたか？

一部切れた → 切れた回路で使用していた電気器具を少なくしてください → 切れた回路の分岐ブレーカを再投入してください

全て切れた → どこのブレーカが切れていますか？

主幹ブレーカ → 表示はどうなっていますか？

異常表示あり → 異常が発生しています 至急連絡先または電気工事業者へ連絡してください

表示なし → 使用していた電気器具を少なくしてください → 主幹ブレーカのハンドルを再投入してください

切れていない → 停電です → 電力が復旧するまでお待ちください

Sブレーカ → 使用していた電気器具を少なくしてください → Sブレーカを再投入してください

連系ブレーカ動作時の対処

●ブレーカ動作の原因

①太陽電池側連系ブレーカの場合
表示があるもの

電圧異常表示	表示なし：白	過電流による動作
	表示あり：黄	過電圧による動作

表示ボタン（黄色）があるもの

表示ボタン	出ていない	過電流による動作
	出ている	過電圧または漏電による動作

②ガス発電、燃料電池側連系ブレーカの場合
過電流による動作です。

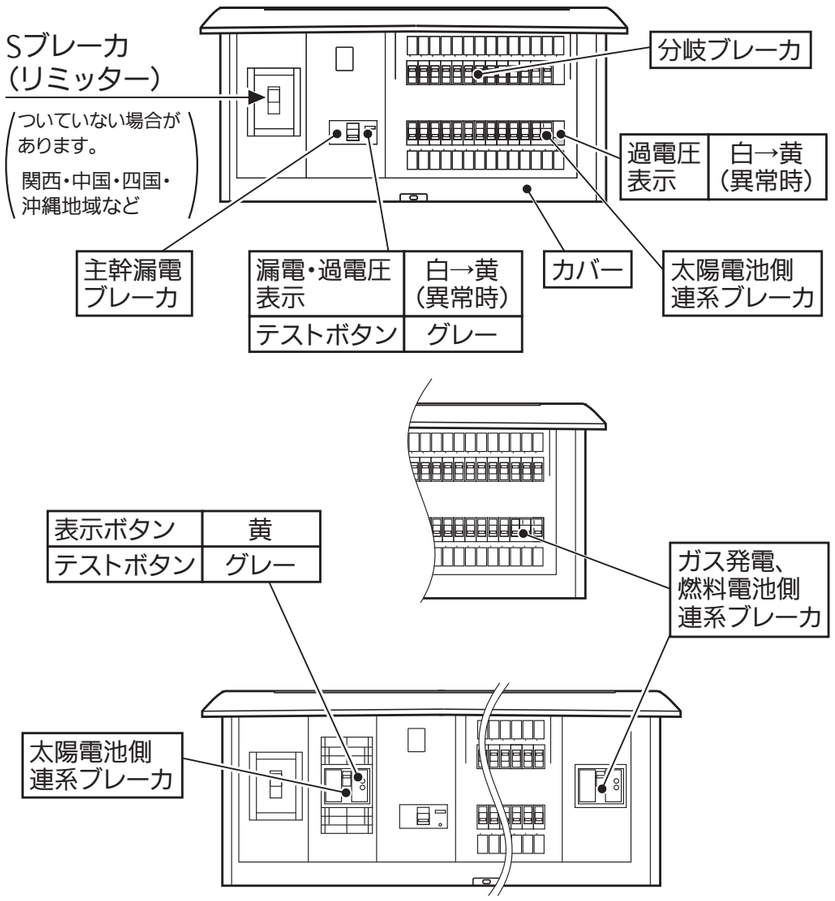
●対処方法

ブレーカのハンドルを再投入してください → 入る → 正常

入らない → 異常が発生しています 至急連絡先または電気工事業者へ連絡してください

主幹ブレーカ動作確認手順

■各部のなまえ



注1）停電または点検などにより電力供給が停止された場合、負荷バランスによっては連系ブレーカが動作する場合があります。

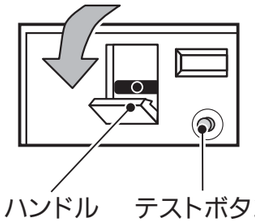
■停電復旧時の確認事項

・主幹漏電ブレーカ、連系ブレーカ共にON［I］になっていることを確認してください。

注意

連系ブレーカがOFF[○]になっている場合は、自家発電側から電力が供給されません。

■動作確認概略図



■主幹漏電ブレーカおよび連系ブレーカの動作確認と復旧の手順

定期的に主幹漏電ブレーカ、連系ブレーカ（※3）の動作確認をすることをお奨めします。（年1～2回）

手順

ブレーカのテストボタンを押してブレーカが切れるのを確認してください。

テストボタンを押す → 動作確認 → 切れる → ハンドルを再投入 → 入る → 正常

動作確認 → 切れない → 異常が発生しています 至急連絡先または電気工事業者へ連絡してください

ハンドルを再投入 → 入らない → 異常が発生しています 至急連絡先または電気工事業者へ連絡してください

・電気が切れますので、ご使用中の時計・タイマーなどのセットをやり直してください。
・主幹漏電ブレーカ、連系ブレーカ共にON［I］になっていることを確認してください。

（※3）テストボタンがないものはテスト不要です。

Panasonic® コンパクト漏電ブレーカSHE型

漏電ブレーカ　SHE-30

8M5 858 006

施工説明書

取扱説明書

<対象製品品番はカタログなどでご確認ください>

施工説明書

施工店様へ

●施工には電気工事士の資格が必要です。
●施工前に必ずお読み頂き、確実に配線してください。
●施工完了後、この説明書を必ず取扱者様へお渡しください。

安全上のご注意

ケガや事故防止のため、以下の点は必ず守ってください。

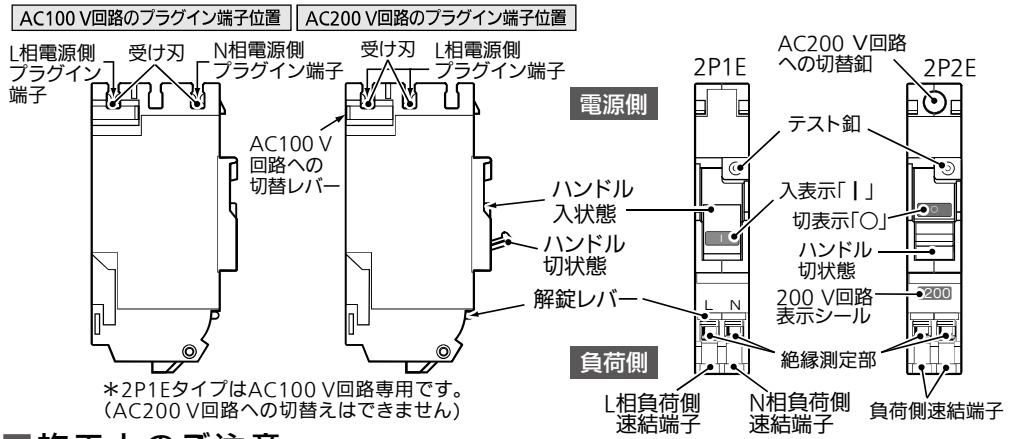
⚠危険

必ず守る	●施工・点検時には必ず主電源を切る ～電源が入ったままの施工は感電の原因になります～
禁止	●線間電圧による感電の保護はできません ～2本の電線を握ると感電し、漏電動作はしません～

⚠注意

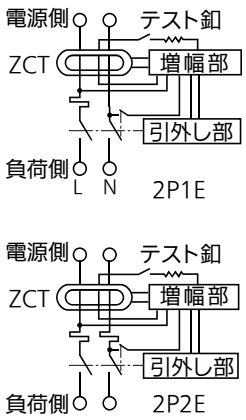
必ず守る	●他社製分電盤には取付けない (パナソニック製分電盤コンパクトシリーズ専用) ～他社製分電盤に取付けると、発熱・発火の原因になります～
	●電源側プラグイン端子はバーへ確実に差込む ～差込みが不十分な場合、発熱・発火の原因になります～
	●負荷側速結端子への接続は、接続完了表示(オレンジ色)が出るまで、電線を奥へ確実に差込む ～差込みが不十分な場合、発熱・発火の原因になります～

■各部のなまえ



＊2P1Eタイプは AC100 V回路専用です。
(AC200 V回路への切替えはできません)

■回路図



■施工上のご注意

- 端子のL相とN相を正しく接続してください。(2P1E：AC100　V回路専用機種の場合)
- 温度(+40 ℃以上)・湿度・粉塵・腐食性ガス・振動・衝撃・直射日光など、異常な周囲環境での使用は避けてください。
- 連続負荷を有する分岐回路の場合、ブレーカに通電する負荷電流は定格電流の80 %以下としてください。(内線規程)
- 施工時、機器内部に異物(電線クズやコンクリート壁材など)が入らないようにしてください。
- ブレーカの動作で2次的な影響を受ける負荷には、警報回路を併用してください。(内線規程)
- 周波数制御回路(インバータ機器)には、配線保護用として一次側にブレーカを設置してください。

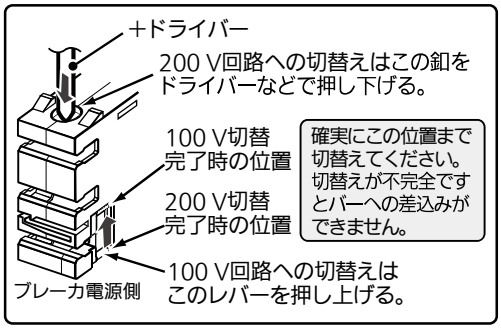
■ブレーカの取付け・取外し

【取付け前に(2P2Eタイプのみ)】

- プラグイン端子の受け刃の位置を確認してください。

(負荷の使用電圧に合わせ、受け刃の位置を切替えてください。分電盤に取付けた状態では切替えできません)

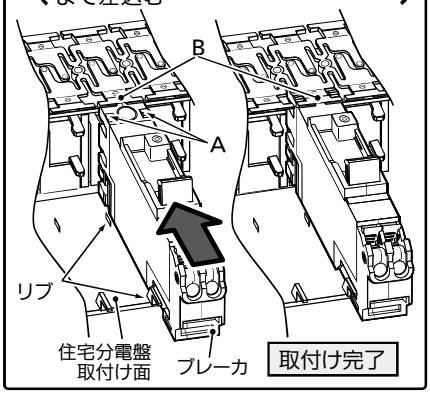
《切替え方法》



《住宅分電盤への取付け・取外し例》

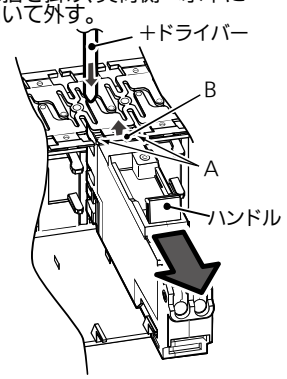
取付け

●住宅分電盤取付け面のリブにブレーカを合わせ、バーに対して水平に奥まで差込む。
(B部がブレーカのA部を乗り越えるまで差込む)



取外し

●下図の位置を+ドライバーで押す。
(B部がブレーカのA部に乗り上げるまで押し込む)
その状態でブレーカのハンドルに指を掛け、負荷側へ水平に引いて外す。



■速結端子への電線接続　＊Cu(銅)単線専用(より線の場合は棒圧着端子使用)【下表参照】

- 電線の被覆をむく。
  〔本体のストリップゲージに電線を合わせ、15 mmむく〕
- 電線を差込む。
  〔電線挿入口から入れ、オレンジ色の接続完了表示が出るまで差込む〕

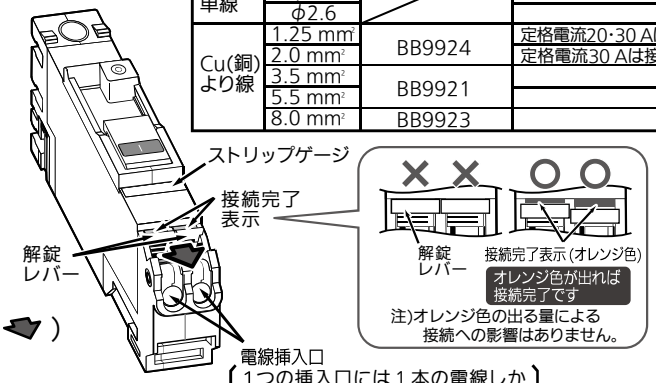
注)
- 電線の変形・腐食は、発熱・発火の原因になります。電線をむき直してから接続してください。
- オレンジ色の接続完了表示が出ない場合は、接続が不十分です。発熱・発火の原因になりますので電線のむき長さを確認の上、接続し直してください。

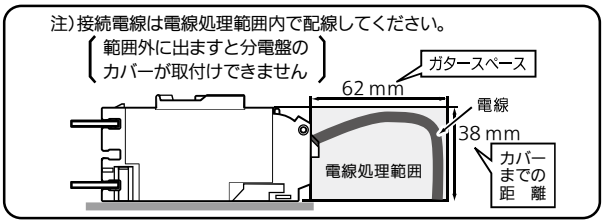
＊電線を抜く場合は、解錠レバーを矢印方向(☚)に引きながら電線を引いてください。

〔φ2.6および8.0 mm² 電線は抜きにくい場合があります。そのときは本体を分電盤から取外し、電線を抜いてください〕

注) 解錠レバーの操作力は約7 Nです。押込み荷重が高すぎる(100 N以上)と破損にいたる場合があります。

接続可能電線		適合棒圧着端子品番 パナソニック製	注意事項
Cu(銅)単線	φ1.6		定格電流30 Aは接続不可
	φ2.0		
	φ2.6		
Cu(銅)より線	1.25 mm²	BB9924	定格電流20・30 Aは接続不可
	2.0 mm²		定格電流30 Aは接続不可
	3.5 mm²	BB9921	
	5.5 mm²		
	8.0 mm²	BB9923	





取扱説明書
(保管用)

取扱者様へ

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 点検・交換には電気工事士の資格が必要です。
- 取扱前に説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。
- この説明書は必ず保管してください。

安全上のご注意

ケガや事故防止のため、以下の点は必ず守ってください。

⚠危険

禁止
- 端子部にはさわらない
  ～感電の原因になります～

⚠注意

必ず守る
- 点検や修理は電気工事店へ依頼する(この説明書を提示する)
  ～不良工事は感電や火災の原因になります～
- 電気工事店へ5年に1回程度、端子ネジの増締め依頼をする
  ～端子ネジのゆるみは発熱・発火の原因になります～

■取扱上のご注意

- 定期的にテスト釦を押して、ブレーカが切「○」状態となることを確認してください。
- テスト釦を通常の切「○」操作には使わないでください。
- ブレーカの動作を確実にするため、負荷機器には必ずアースをとってください。
- ハンドルの再投入〔入「┃」〕後、即動作する時は負荷が短絡状態か、負荷回路の漏電、または機器の異常です。原因を取り除いた後ハンドルを入「┃」にしてください。
- 絶縁測定はハンドルを切「○」状態にし、電線を接続したまま本体の絶縁測定部で行ってください。(ハンドルが入「┃」状態で行うと、本体の漏電検知部が破損します)

【ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

施工店　　電　話

パナソニック株式会社
パナソニック エコソリューションズ電路株式会社
〒571-8686　大阪府門真市門真 1048 番地　TEL（代表）06-6908-1131

©Panasonic Corporation 2012
8M5 858 006
PC0310-10112